

スタッフ便り

昨年7月、センター内に「高性能計算技術開発（NEC）共同研究部門」が開設されました。この研究部門は東北大学と日本電気株式会社との産学連携拠点として開設されたもので、次世代スーパーコンピュータに向けた要素技術の研究やアプリケーションプログラムの高速化や並列化に関する研究を行っています。

私も7月からこの研究部門の一員として研究活動を始めました。昨年度の成果の一つは、2月に稼働したスーパーコンピュータシステム SX-ACE を使ったリアルタイム津波浸水シミュレーションシステムの開発です。3月に開催された国連防災世界会議のパブリックフォーラムでは、SX-ACE の実機を使い、南海トラフ地震を想定したデモンストレーションを行いました。このデモンストレーションで、地震発生から約17分で高知市内の津波浸水の予測を高知県庁へ送付できることを実証しました。

今年度は、このリアルタイム津波浸水シミュレーションシステムのさらなる強化を行っていきたいと思っています。スーパーコンピュータが社会インフラの一部になり、安全・安心な社会を実現できればと思っています。（A.M）

新スーパーコンピュータ SX-ACE の運用がいよいよ始まり、忙しくも充実した毎日を送っています。昨年4月からセンターの技術職員として働きはじめ、早いものでもう1年です。社会人になってから、職場も仕事もガラッと変わったのは今回が初めて。この歳で新しいことを一から習得することの大変さを痛感したり、職場が変わるとこんなに文化が違うのかとカルチャーショックを受けたりしつつも、多少はセンター職員として様になってきたかな、と思う今日この頃です。まだまだ勉強勉強の日々ですが、有効にシステムをお使いいただけるよう微力ながらもサポートしていければと思っています。

新年度もどうぞよろしくお願いいたします。（A.S）



整備中の青葉山新キャンパス

SENAC 編集部会

小林広明 曾根秀昭 水木敬明 後藤英昭
江川隆輔 佐藤恵美子 高杉佳奈 大泉健治
小野 敏 斉藤くみ子

平成 27 年 4 月発行
編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
郵便番号 980-8578
印刷 東北大学生協同組合
プリントコープ